

# 相生町一にあすオープン

## 手づくり昼食など楽しんで

誰でも利用可

### 地域住民交流サロン 「まちのえんがわ」

地域住民の交流サロン「まちのえんがわ」が6日、桐生大橋右岸のコープぐんま(桐生市相生町一丁目)にオープンする。手づくりの昼食(400円)とレクリエーションが楽しめる施設で、誰でも利用できる。4日の内覧会には、地元桐生市第18区や15区の関係者が出席。受け入れ準備が整った施設で、さっそく食事や舞踊を楽しんだ。

### コープ、桐生市ボラ協、住民がタッグ

施設の空きスペースを交流拠点づくりを  
を活用して地域貢献に 進める桐生市ボランティア  
取り組みたいコープ、イア協議会、それに地  
元と、誰もが利用で 一元自治会や公民館、包  
120平方メートルの部屋に

挿支援センターなどが  
協力して立ち上げた。  
コープぐんまでは約



準備が整い、6日にオープンする「まちのえんがわ」(桐生市相生町一丁目)

新たに厨房(ちゅうぼう)を設置。ボラ協では料理を担うボランティアを募集、必要な道具を集めるなど、準備を重ねてきた。

4日の内覧会では、ボラ協、コープぐんま、18区長ら、関係者がそれぞれあいさつ。立ち上げの経緯を語るなど、年齢、性別、障害の有無に関係なく、誰もがくつろげる居場所しようと、抱負を語り合った。

正式オープンは6日

で、開設は午前10時〜午後3時。ランチは火・木・金曜のみで、正午から午後1時(ラストオーダー)まで。卓球台も設ける予定で、月曜を新卓球の日にするなど、運営委員会がプログラムを考案している。

梅田町一丁目の「みんなの茶の間」で運営ノウハウを持つボラ協の宮地由高会長は「助け合いの精神で運営していければ、ヤオコーのすぐそばで地の利がよく、利用もしやすいはずと期待を寄せる。ピアノ、食事用のテーブルなどが不足し

ており、運営するボラ協では提供を呼び掛けている。問い合わせは桐生市ボランティア協議会(電話55・0170)へ。